



参加
無料

定員
40名

資料代別
1,000円

Aコース [基礎編] 愛媛大学開催 栽培技術者および栽培指導者のための 植物工場技術入門

【主催】一般社団法人日本施設園芸協会

【事務局】愛媛大学植物工場研究センター

【概要】温室や太陽光植物工場において、環境を調節しながら作物生産を行う際に必要となる基礎知識(環境要因とその調節, 植物の環境応答), 植物の生育状態の把握方法(手計測から植物診断ロボットまで), コンピュータやセンサーを用いた情報化, 食品の安全安心などについて, 愛媛大学植物工場研究センターの教員が一般の方々を対象に分かりやすく説明します。前提知識のない方でも御理解頂けます。



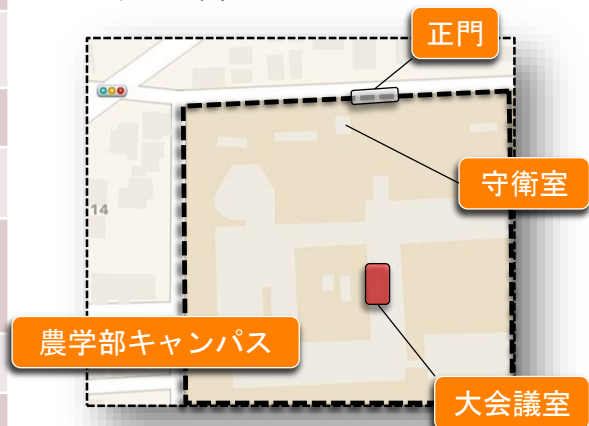
日付	時刻	講師	科目・内容
12/9 [水] 8:30 受付開始	9:00-10:30	高山 弘太郎	光合成と蒸散の基本 光合成と蒸散の基本を理解します。飽差管理と増収が直結しない場合があることを理解できます。
	10:40-12:10	有馬 誠一	安全・安心食品の提供 植物工場に期待されている安全・安心食品についての基礎を理解します。
	13:00-14:30	有馬 誠一	オートメーションと機械化 経営規模拡大の際に必要な不可欠となるオートメーションと機械化についての基礎知識を身に付けます。
	14:40-16:10	羽藤 堅治	施設生産の情報化 温室の情報化の進め方について知識を増やせます。
	16:10-	【見学】高山 弘太郎・高橋 憲子	太陽光植物工場や植物診断ロボット, 植物工場研究センターの施設や装置をご紹介します。
	12/10 [木] 8:30 受付開始	9:00-10:30	仁科 弘重
10:40-12:10		仁科 弘重	暖房の基本 暖房に注目して, 環境制御の基本を説明します。効率良い暖房とは何かを理解できます。
13:00-14:30		高山 弘太郎	群落光合成と環境制御 群落内の光合成機能の分布を理解します。効果的な補光・二酸化炭素施用とは何かを理解できます。
14:40-16:10		高山 弘太郎	生体情報の活用 テープカメラを用いた基本的な成長評価から植物診断ロボットを用いた高度な生体情報活用まで網羅します。明日から使える生体情報活用サービスも紹介します。

2015.

12/9 [水]・10 [木]

愛媛大学農学部
大会議室

松山市樽味3-5-7



- ❖ 伊予鉄バス 8番線「愛大農学部前」下車
- ❖ 駐車可能数はわずかですので公共交通機関をお使い下さい。

参加申込・お問合せ先

- ❖ 参加申込HP:
<https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~kensyua4/mpmailec/form.cgi>
- ❖ 問い合わせ: 高山・高橋 (事務担当 大内)
(愛媛大学 農学部・植物工場研究センター)
E-mail: zinzai@agr.ehime-u.ac.jp